

軸の取り扱い

日本古来の表装の一つである軸。日本風土とも合致した優れた保管方法でもあります。しかし、現在住宅の変化もあり、軸を身近に接することが減ってきています。

体験用の軸を活用し、軸の形状説明から、持ち方、開き方、巻き取り方に至る軸の扱い方を、実際に一人一人が触れる機会を設けたいと思います。

- 所要時間 1時間程度
- 対象 小学4年生以上・5～10名程度
- 材料費 無料
- 道具
 - ・ 体験用の軸 ・ 矢筈 ・ 軸が掛けられる壁、吊るためのフック等
- 材料
 - ・ タオル（手を洗って拭くため）
- その他
 - ・ 作品を取り扱う前に、手を洗います。その際に使うタオル以外は、基本的に個人が用意するものではありません。
 - ・ 軸を安全に掛けることができる壁（高さ2m程度のフラットな壁）、吊るためのフック等が必要になります。
 - ・ 一人一人に実際に体験してもらいたいと考えています。よって、多くの人数を一度に対応できません。
（館内で実施する場合は、仮設壁は美術館が用意します。また場合によって展示室の観覧料が必要です。）

